

令和4年度 第3回 東根市立大富中学校学校評価委員会 記録

1 開催日 令和5年2月10日(金) 会場 大富中学校(10:20~12:00)

2 参加者 大富公民館長・大富地区区長協議会会長・大富地区民生員代表・大富小学校長・大富中学校PTA会長・大富中学校校長・大富中学校教頭

3 全体の流れ

- (1) 10:30~11:00 授業参観
- (2) 11:00~11:10 学校長挨拶
- (3) 11:10~11:50 報告・協議
- (4) 11:50~12:00 その他

4 報告・協議内容

(1) 校長挨拶

(2) 評価委員お一人ずつから授業参観の感想をいただきました。

◎公民館長

先生方の様子や座席を見て、気の配り方、配置の仕方、授業の課題に応じて向き合わせる様子があった。今まで生徒と関わる機会があり、今日も目が合うとあいさつをしてくれた。

◎区長会長

授業など学校生活を通じて、上下関係なく、子ども達同士が元気よく過ごしてほしい。以前は、地域の行事で先輩と後輩の交流の場がたくさんあったが、今はほとんどなくなっている。学校だけではないが、人間関係を築く場を絶やさないでいきたい。

◎民生委員

落ち着いて学習に向かっていた。毎回授業参観をしているが、集中力が増している。数学では、一人一人に立体の教材を準備することで、個々が学べるように配慮しつつ、グループで深め合える手立てを取っていた。英語では自分ごととして考えられる課題とビンゴを組み合わせて答えを導き出す学びになっていた。プリント折る場面で、折り方が分からない仲間に対して優しく教えてあげる姿に思いやりを感じた。

◎小学校校長

落ち着きがある中にも、リラックスしながら授業に向かっていた。1年生が1クラスを2つに分け少人数で英語と数学の授業を行っていた。手厚い指導をしている。先生方の負担が大きいと思うが、効果的な学習である。

◎PTA会長

授業に個別最適化を感じた。分かったと思える、学びの楽しさを感じた。生徒一人一人の特徴を捉えて、それぞれに応じた支援が必要である。ダイバーシティー、インクルーシブなど、言葉をよく聞くが、ケースバイケースの対応が必要になってくると思う。

### (3) 教頭より

本校 HP と学校新聞「桜桃」を用いて授業や学校行事を通した子ども達の様子を説明するとともに、「2学期の学校評価結果」の資料をもとに、子ども、保護者、学校三者が学習の重要性を感じていることと、学びの満足度について生徒は高い評価だが、保護者と学校は家庭学習での取り組みやメディアの利用時間の多さに課題を感じていることを中心に説明をしました。

### (4) 学校の教育活動全般について委員の方からご意見をいただきました。

#### ◎公民館長

先日、武道関係の県の会議に出席した際、大富中は、体育の授業で武道として剣道と空手2種目を実践している県内でも数少ない学校であることが分かった。会議でも実情を聞かれることが多く、注目されている。この実践を大切にしてほしい。

#### ◎区長会長

将来ユーチューバーになりたいという若者が増えている中、回転寿司での犯罪を面白いからやってしまう。ネットでやれば何でもできるような世の中、学校だけでなく地域も一緒になって、正しい知識を教育していく必要がある。

#### ◎民生委員代表

学校評価アンケートの結果は受け止めつつ、基本は一人ひとりへの丁寧な指導が必要である。小学校との違いは中学校卒業後の進路である。先輩の姿を見て、憧れを持ちながら、3年間での成長を期待しています。

#### ◎小学校長

小中連携が大事である。子ども同士の連携、職員の連携、そして校長同士の連携を築いていきたい。

Q：相談として、女子のスラックへの対応はあるか。

A：中学校：防寒対策も含め、過去何度か話題になっているため、準備はできている。制服関係の業者の話では、県内で100近くの女子が、スラックスを希望しているということもある。本校としても、希望があれば対応する。

◎PTA 会長メディア対策ユーチューバーの活躍や問題が話題になっている。職業としてユーチューバーは人気である。その職に就くための仕組みや収入を含めて学ぶ必要がある。再生回数を伸ばすためなら何でもやっていいのか、道徳的な面も大事である。また、部活動任意加入について、国で示す部活動のあり方と将来の部活動のあり方を保護者としても考える必要がある。

～1年間、本校の学校評価委員を務めていただきありがとうございました。いただいたご意見を職員一同共通理解し、教育活動に活かしてまいります～